

10-8. 年齢別有効求人倍率

平成16年の有効求人倍率は全国、大阪府ともに上昇しましたが、全体としては依然1を下回る水準にあります。ただし、24歳以下では大阪府が全国水準よりも高い値となりました。

(1) 大阪府

(単位：倍)

年	計	24歳以下	25～34歳	35～44歳	45～54歳	55歳以上
平成12年	0.53	0.95	0.67	0.90	0.32	0.10
13年	0.47	0.88	0.53	0.74	0.31	0.14
14年	0.47	0.94	0.54	0.72	0.29	0.15
15年	0.67	1.38	0.74	0.93	0.44	0.22
16年	0.86	1.73	0.89	1.10	0.63	0.35

(大阪労働局 「職業安定業務統計」)

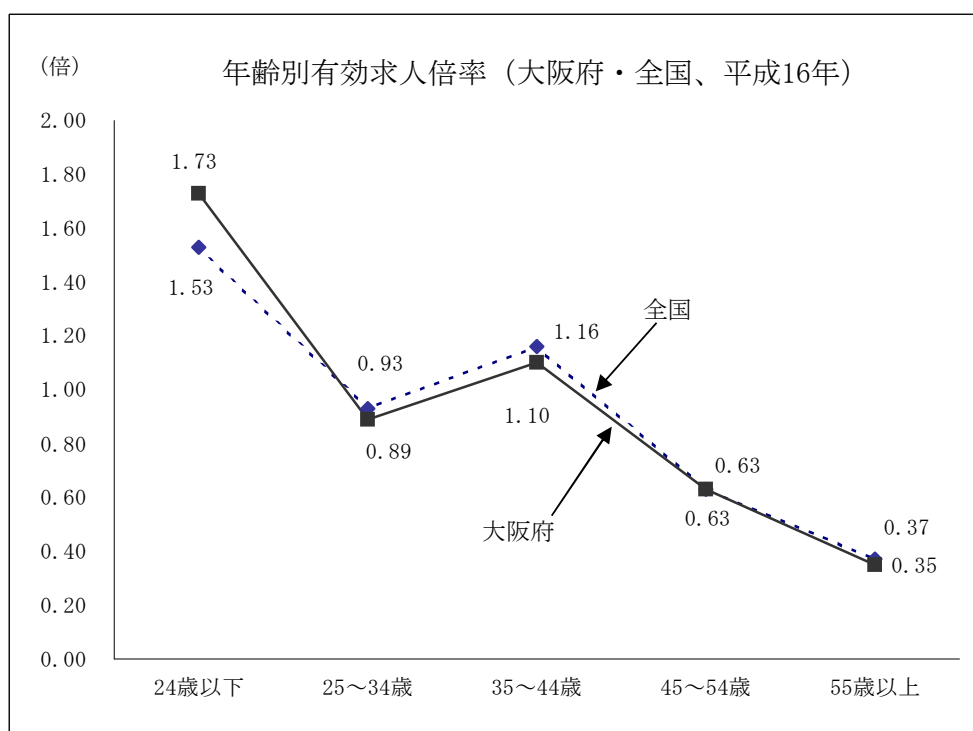
(2) 全国

(単位：倍)

年	計	24歳以下	25～34歳	35～44歳	45～54歳	55歳以上
平成12年	0.64	1.08	0.84	1.11	0.43	0.13
13年	0.54	0.91	0.64	0.87	0.39	0.18
14年	0.56	1.00	0.64	0.84	0.36	0.20
15年	0.70	1.25	0.79	0.99	0.46	0.25
16年	0.88	1.53	0.93	1.16	0.63	0.37

(厚生労働省 「職業安定業務統計」)

(注) 各年10月分。



求人倍率

求職に対する求人の比率をいう。すなわち、求職者一人あたりの求人数を示し、労働力の量的な需給状況を示す目安として使われています。